



は 励んで光る  
た 愉しんで光る  
つ つながって光る



文責:富永 千晶

## 授業参観・教育講演会ありがとうございました

授業参観では、カタカナ、ローマ字、熟語、比、水のゆくえ、ステージ発表など各学年、普段の様子を見ていただきました。波多津小学校では、**子どもが主体的に学ぶ授業を展開**しています。自らじっくり考えたり、相手に思いを伝え合ったりする場面でのお子さんの成長を感じていただければ幸いです。

教育講演会では、富永ポンドさんから「夢をもつことの大切さ」についてお話いただきました。変化が激しい社会、先が見えない不安、夢をもつことが難しい世の中です。**だからこそ波多津小の子どもたちには、夢をもって欲しい、目標をもって日々を過ごして欲しい**と思います。そんな願いをこめてこの講演会を設定しました。講演会の様子は、後日、伊万里ケーブル TV で紹介されます。(放送日時が決まったらお伝えしますね)

### 【夢を叶える方法】

「周りの人に夢を語ること」「感謝すること」「諦めないこと」の3つです。けど、まずは、夢をもつことです。そして叶えるために努力する、その過程を大切にしたいです。

### 【アートに失敗はない】

81人いれば81通りの作品ができます。誰も自分と同じ作品は描けません。だから、互いに認め合うことができます。正直、「失敗したな」と思うこともあります。でも、何年か経ってその作品を見たら、その時の記憶がよみがえり、愛おしく感じます。だからアートに失敗はない!と思います。

### 【これからのこと】

ライブアートを通して、これからも人と人をつなぎたいです。こうして、みんなともつながることができました。これは自分だけでは描けなかった作品です。この作品に今日の思い出を詰め込んだので、作品を見て思い出してください。

まさにライブアート。  
対話を通して完成した  
作品です。学校に寄贈し  
ていただきました。



## あいさつ運動推進ポスター表彰式

9/28(木) 全校朝会で、夏休みに募集していた「あいさつ運動推進ポスター」の表彰式を行いました。

波多津町防犯協会会長の前田さんに代わって小杉センター長さんに賞状を渡していただきました。

その後、入賞した6作品のよさについて講評いただきました。



私たちは、家族や地域、学校で生活しています。その時に大切なことは、お互いを思いやる心です。その基本が「あいさつ」です。

みなさんがあいさつをすることで町が明るく元気になります。

ぜひ、家族に、バスの運転手さんに、地域の人に、学校の先生や友達にあいさつをして、あいさつの輪を広げていきましょう。



小杉センター長さんは、小学生の頃からバスに乗って画塾に通っておられたそうです。描いた絵がコンクールで入賞したことがきっかけで、中学校、高校、大学で美術を学ばれたということでした。子どもたちに「何か一つでもいいから、自分の好きなこと、得意なことを見つけて頑張ってください」と話してくださいました。

このように地域の方の話を聞くことは、子どもたちにとって貴重な経験だなあと痛感しました。

## 3度目の正直!?! スケッチ会

9/28(木) 午前中、4~6年生が田嶋神社方面、波多津漁港方面にスケッチに出かけました。2回の雨天延期を経て、やっとこの日に実行できました。

波多津の町のステキを見つけて表現することを目的にしたスケッチです。子どもたちはとおきの場所を画用紙におさめていました。

